

令和5年度事業報告

自：令和5年4月1日

至：令和6年3月31日

本協会は、会員の生産する物産を広く紹介・宣伝することにより、販路の拡大および本県産業の振興に寄与するため、諸般にわたり事業活動を行っており、令和5年度に実施した事業の概要は次のとおりである。

1. 各種会議の開催

令和5年度各種会議開催状況

年月日	名称	会場	議題
令和5年 6月9日	第1回理事会	鳥取商工会議所	1. 令和4年度事業報告 2. 令和4年度収支決算見込み 3. 令和5年度事業計画 4. 令和5年度収支予算 5. 就業規則の改正について 6. 任期満了に伴う役員の改選について
6月27日	令和5年度定時会員総会	対翠閣	1. 令和4年度事業報告 2. 令和4年度収支決算見込み 3. 令和5年度事業計画 4. 令和5年度収支予算 5. 年会費について 6. 役員の報酬額について 7. 任期満了に伴う役員の改選について
6月27日	第2回理事会	対翠閣	1. 令和5年度役員体制について 2. 非業務執行理事等の賠償責任限定契約の締結について
令和6年 3月14日	第3回理事会	鳥取商工会議所	1. 令和5年度事業実績について 2. 令和6年度事業計画、収支予算について

2. 物産の紹介及び宣伝に関する事業

(1) 物産展の開催・参加

本県産業の認知度を高め、併せて消費動向を調査するため、県内外で物産展の開催に努めた。また、各種団体が主催する催しに積極的に参加し、本県産業の紹介宣伝に努めた。

(2) 新規物産展開催に向けて、百貨店への営業活動を実施した。

鳥取県物産協会運営費補助金（販路開拓を推進する営業活動担当職員及び活動経費への補助事業）を活用した、

【令和5年度の特記事項】

- ア 百貨店等での物産展事業は、当初の見込みどおりの開催ができず、収益が伸び悩んだ。(三越日本橋店での事業の中止、一畑百貨店の閉店)
- イ 出店事業は、年度中途での出店依頼もあり、ほぼ当初見込みどおりの収益を上げた。
- ウ その他の分野では、ふるさと納税や三徳など大型スーパーへの卸業務が安定的に推移したほか、ふるさと鳥取県定住機構からの受託業務が収益に貢献した。

ア 令和5年度各種物産展開催・参加状況

	月次	期間	日数	催事名	会場	備考
1	6月	6/21～6/27	7日間	鳥取フェア	伊勢丹浦和店	まぐる・すいか・肉PR
2	8月	8/25～8/26	2日間	鳥取マルシェ	松坂屋高槻店	
3	8月	8/30～9/5	7日間	鳥取フェア	大丸神戸店	
4	8月	8/30～9/5	7日間	鳥取フェア	三越銀座店	農畜関連帳合無し
5	9月	9/6～9/12	7日間	鳥取フェア	大丸梅田店	
6	9月	9/8～9/10	3日間	鳥取県民の日フェア	イオン鳥取北店	
7	9月	9/29～9/30	2日間	鳥取マルシェ	松坂屋高槻店	
8	10月	10/20～10/21	2日間	鳥取マルシェ	松坂屋高槻店	
9	10月	10/25～10/31	7日間	鳥取フェア	三越銀座店	農畜関連帳合無し
10	11月	11/15～11/19	7日間	鳥取フェア	伊勢丹新宿店	農畜水グロッサリーPR
11	11月	中止	7日間	鳥取フェア	三越日本橋店	調整不調
12	11月	11/8～11/14	7日間	鳥取フェア	大丸芦屋店	
13	11月	11/10～11/11	2日間	鳥取マルシェ	松坂屋高槻店	
14	11月	11/15～11/21	7日間	鳥取フェア	高島屋堺店	
15	11月	11/15～11/21	7日間	鳥取フェア	高島屋泉北店	新規
16	11月	11/22～11/26	5日間	松葉ガニフェア	三越日本橋店	鮮魚等帳合無し
17	12月	12/1～12/2	2日間	鳥取マルシェ	松坂屋高槻店	
18	1月	1/17～1/23	7日間	鳥取フェア	伊勢丹立川店	新規
19	2月	中止	6日間	ふるさと特産品まつり	一畑松江店	(1/14閉店)

イ 令和5年度各種大会における出店参加状況

	月次	期間	日数	催事名	会場	備考
1	4月	4/16	1日間	ライオンズクラブ年次大会	とりぎん文化会館	
2	4月	4/17	1日間	クルーズ客船イベント	鳥取港(1号岸壁)	「ル・ソレアル」来港
3	4月	4/25	1日間	3県合同販売会	久屋中日ビル	名古屋
4	5月	5/1	1日間	クルーズ客船イベント	鳥取港(1号岸壁)	「にっぽん丸」来港
5	5月	5/20～5/21	2日間	中四国9県観光と物産展	ららぽーと堺	
6	5月	5/25	1日間	3県合同販売会	久屋中日ビル	名古屋
7	5月	5/28	1日間	神戸まつり	三ノ宮	
8	6月	6/17～6/18	2日間	桂木龍 歌謡ショー	奈良高の原・すずらん館	※大山町出身歌手
9	6月	6/25	1日間	まるごと鳥取夏あそび	ららぽーと門真	大阪日日新聞主催
10	7月	7/23	1日間	鳥取県物産PR	大阪・シティプラザ	
11	8月	8/19	1日間	コナンまつり	とりぎん文化会館	
12	9月	9/17	1日間	ラジオ関西まつり	神戸・ハーバーランド	
13	9月	9/23～9/24	2日間	中四国9県観光と物産展	キューズモール箕面	
14	10月	10/28～10/29	2日間	コトラボマルシェ	阿佐ヶ谷オレンジページキッチン	

15	10月	10/29	1日間	日本橋まつり	日本橋	
16	10月	10/25	1日間	3県合同販売会	久屋中日ビル	名古屋
17	11月	11/3	1日間	藤花祭(大学祭)	京都女子大学	
18	11月	11/9	1日間	関西広域連合販売会	中之島フェスティバルタワー	
19	11月	11/21～11/24	4日間	13県合同販売会	名古屋金山駅	
20	11月	11/25～11/26	2日間	ゲゲゲ忌イベント	調布市役所前広場	
21	1月	1/9～1/10	2日間	堀川戎神社十日戎	読売新聞本社ビル	

ウ その他事業

- 三徳（スーパー卸）
- 三越ふるさと納税返礼品卸
- 関西物販（鳥取県関西本部事務所）
- 伊勢丹ドア（カタログ販売、WEB 宅配）
- JTB ショップ（WEB 宅配）
- ANA ケータリングサービス（機内食素材卸）
- 東急百貨店（WEB 宅配）
- 京王ストア（スーパー卸/柳生屋フーズ）
- 東急ストア（スーパー卸/柳生屋フーズ）
- ロブレ（栃木県内商業施設卸/柳生屋フーズ）
- 家族まるごと登録事業（ふるさと鳥取県定住機構受託事業）

3. 物産販路開拓支援業務に係る鳥取県からの補助事業

(1) 物産展事業

○業務内容

- ・県と協働で行う物産展に係る百貨店等との打ち合わせ、口座開設、出展者募集、出展者との調整、レイアウト、チラシのとりまとめ、搬入搬出作業、期間中事業者支援、精算作業等を行った。
- ・その他、小規模イベントでの物産販売等を行った。

(2) 販路開拓事業

○業務内容

- ・企業訪問等による商品掘り起こしと販路開拓の手法等のアドバイス
百貨店・スーパー・出店等、鳥取県フェアで催事出展の経験の浅い事業者へ個別のアドバイスをおこなった。特に買いやすい商品陳列や売上げを稼ぐための品揃えの充実、販促、什器等の提案など出来るだけ具体的に助言を行った。
- ・県内物産の商品企画・開発・改良支援・協力機関の紹介
百貨店等での物産展の調整として、百貨店等のバイヤーやテナント業者と県内事業者との商談会を設定、求められる商材や販売方法、目標数量・金額等のアドバイスを行った。
- ・県内店舗等とのマッチング等支援
商談会で引き合いのあった事業者に見積書の書き方や留意点などチェックや改良支援も行った。
- ・首都圏における販路開拓に係る調整支援
首都圏の商況については、コロナ禍での自粛も終わり、集客イベントなども活性化している。一方では、自宅需要などの宅配、産直などは落ち着きを見せ、外販、飲食などなども復調の気配を見せ始めている。
百貨店の物産フェア等に関しては、浦和伊勢丹の5年振りの開催、立川伊勢丹の7年ぶりの開催があった。
また、開催機会を確保するため、鮮魚、精肉、青果テナントへの卸、販促イベントへ仲介を行うとともに百貨店側とフロア全体の盛り上げ策として買上顧客向け抽選会などを開催した。

三越への出店は、百貨店側の意向もあり、総花的な鳥取特集は見送られ、アイテム特化型の二十世紀梨と新甘泉の食べ比べ、松葉がに特集、輝太郎柿特集などに絞り込み。試食が復活し、賑わいがあった。

宅配、産直ギフトなどでは、昨年、1年間で大きな実績を残した「三越伊勢丹ふるさと納税」の返礼品や宅配「伊勢丹ドア」は、前年並みの売り上げを確保した。

その一方で、JTB ショッピングサイトは、昨年の受注実績を埋められず、大幅マイナスとなった。

卸事業では、ANA ケータリングサービスが、就航便の復活により機内食も活性化した。

又、新規提案の食材の採用などもあり、大幅増の受注を達成した。

スーパーなどでは、「三徳」などは、受注金額を伸ばしたが、コロナ前には及ばず、コロナ禍で仕入れに対して、非常に慎重になっていることがうかがえる。

新規の要素としては、本年度は、三菱食品、柳生屋フーズ経由で、「東急ストア」、「京王ストア」、商業施設「ロブレ」などへ初出荷を行った。今後に期待を繋いでいる。

・関西圏における販路開拓に係る調整支援

関西圏における百貨店で開催される鳥取物産フェアにおいて、県内事業者を招聘しての販売ならびに県産品直送品を本会が受託しての販売とあわせ、県産品PRに取り組んだ。

松坂屋高槻店で定期開催の「鳥取マルシェ」は梨の出荷時期と合わせ、8月の「二十世紀梨」から9月の「新高梨」10月は「王秋梨」と実施。12月予定の「あたご梨」は玉数の確保が困難のため中止となり、今年度は3回実施となった。

今年度も大丸神戸店へ出店。前年度まで島根県との共催であったが、今回は会場全て鳥取県の事業者ならびに本会による特産品の販売を行い、新規の2事業者の出展により、業績アップに寄与した。

続いて開催の大丸梅田店においても「鳥取フェア」を開催。こちらも県内事業者から出荷いただいた商品を委託販売で実施。また同時に青果売場テナントにおいて二十世紀梨、新甘泉梨、シャインマスカットなど県産果実の販売を行い、前年売上比174%と大幅増を記録した。

昨年に続いて高島屋堺店にて11月に「鳥取フェア」を開催。今年度は同時開催で高島屋泉北店においても開催され、両店の鮮魚売場や精肉売場においても鳥取県産鮮魚、牛肉の販売も連動して両店の店舗全体で鳥取県産品をPRできる機会となった。

その他、外部会場、イベントにも積極的に参加を行い、5月と9月に開催される中四国9県の観光物産展をはじめ、新規イベントとして神戸地区での観光PRイベントにあわせて出店、5月神戸まつり、9月ラジオ関西まつり（神戸ハーバーランド）で鳥取県産品PRを行い、1月には読売新聞社大阪本社ビルにて「ねんりんピック」「鳥取県立美術館」の情報発信とともに鳥取県産品の販売や鳥取県内日本酒醸造元の甘酒の振る舞いで大いに賑わった。

また前年に引き続き第2回目として、鳥取県立米子南高等学校在校生による販売実習の場として松坂屋高槻店のイベントスペースを使って、同校が企画開発した商品の販売を生徒達自身で行い、来場者と生徒たちのコミュニケーションも弾み、準備品も短時間で完売するなど好評であった。

・中京地区における物産の斡旋紹介

前年に続き、鳥取県名古屋代表部が入居する久屋中日ビルにおいて4月、5月、7月、10月の計4回、石川・山形両県とともに3県合同の販売会に出店。

毎年恒例となっている金山駅で開催の13県合同「ふるさとフェア」にも引き続き出店を行い、初めてのメイン通路側での販売となり、品切れが続発するなど好成績で賑わった。

（3）アンテナショップ事業

・企業訪問等によるアンテナショップ販売商品の掘り起こし、商品開発支援

県市場開拓局販路拡大課と密に連携しながら、農林漁業および商工業等県内事業者278（前年127）社を訪問し、東京の県アンテナショップを紹介しつつ、自社商品の東京での情報発信にトライしていただくよう働きかける活動を行った。その結果、チャレンジ商品を含むアンテ

ナショッパへの新商品紹介は 61 点にのぼった。

また、各事業者への訪問と併行して、情報収集のため県内外の販売施設およそ 100 ケ所へ出向き、新商品チェック・商品展開・陳列手法・販売員数・顧客動向・周辺環境などの市場調査を行い、県内事業者への情報提供の際の参考とした。

・アンテナショッパ催事業務

アンテナショッパ催事出展募集、受付、関係事務処理及び催事サポート、フィードバック等を鳥取県販路拡大課、東京本部アンテナ運営事務局と連携しながら行った。その結果、催事出展は、公的団体を除き、のべ 24 件（前年 14 件）となった。

催事出展に際しては、各事業者へ県による支援金を紹介すると同時に、事前の打合せを行い、必要に応じ、事後のフォローを実施した。その内容については、県販路拡大課・アンテナ運営事務局など関係者にも随時報告をして情報の共有化を図った。

また初出展もしくは出展に不慣れな出展者に関しては、出展日に上京し、実地に支援・指導を行った。

（４）民芸事業

○業務内容

・民芸事業者と既存販売店舗のマッチング、フォローアップ等における販路拡大・維持支援

（ ）内数値は前年実績

民芸事業者の訪問回数・延べ 65（50）回、既存店舗の訪問回数・延べ 95（84）回、販路拡大のための情報収集と新しい製品・販売店・展示会等の情報交換を行った。

マッチング数：27（2 店舗, 25 販売展示）

・鳥取県伝統工芸士会事務局業務

平成 29 年度より鳥取県伝統工芸士会事務局が鳥取県物産協会に移管され、事務局業務全般、会計業務を行った。

・「第 14 回 鳥取の伝統工芸士展」の開催。（会期：令和 6 年 3 月 20 日～25 日、会場：丸由百貨店 5F、出展事業者：18）

・総会、幹事会、相談会等に関する書類作成（決算予算書・事業報告計画書・議案・会報等）参加案内、会費の徴収

・関係者間の調整、資料等作成、清算業務。

・その他民芸に付随する業務

・事業者情報・商品情報・新着情報・イベント情報等を紹介した。

・各種イベント、展示会への出展支援を行った。

・ホームページを活用し各民芸事業者にとって有益な情報を発信、更新した。

（５）【その他県委託事業等】

○とっとりの逸品販路拡大支援事業

・鳥取フェア等に係る店舗協力費、広報費等支払い

店舗協力費又は広報費（物産展「鳥取フェア」等）の支払いを行った。

・催事等出展事業者への旅費支援金等支給

県外で行われる鳥取県フェア等催事又は見本市等に出展する事業者に対して旅費支援また、マネキンによる支援を行った。

・見本市への出展支援事業

スーパーマーケットトレードショウ（2/14～16、幕張メッセ、13 社参加）及び FOOD EX JAPAN2024（3/5～8、東京ビッグサイト、15 社参加）への出展支援として、出展料の徴収やブースへの出店補助等を行った。

○鳥取県東京アンテナショッパ機能強化事業

・令和 5 年度冬期県内商談会・報告会

日時 令和 6 年 2 月 20 日（火）

場所 倉吉未来中心

参加 17 社（アンテナショップ新運営事業者・天満屋分）

なお、商談会の後、昨年度までコロナ禍のため実施していなかった報告会を開催した。、本年度までの運営事業者・フジランドによる事業報告および次年度からの運営事業者・天満屋による運営方針説明がその内容であったが、会場を埋める多くの県内事業者の参加があり、関心の高さがうかがえた。

また、フジランドはアンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」公式オンラインショップにより人気商品を情報発信するほか、通常店頭にはない商品も産地直送により対応し、好評を博していたため、今後は天満屋におけるオンラインショップ展開も期待したい。

○ふるさと産業支援事業

・県外販路支援

県内販路開拓支援の一環として、米子高島屋で民工芸県内若手作家展示販売会「第 15 回ととりの手仕事展」を開催し、情報提示調整及び経費の一部支援を行った

・鳥取県の民工芸・伝統工芸の次世代のための研修会

「暮らしの彩りワークショップ ～つくる、組み合わせる、切り取る～」を開催。

鈴木真貴氏(写真家)と akiko 氏(料理家・フードコーディネーター)を講師に迎え、県内作家の作品がより魅力的に伝わるような写真撮影のコツ、演出やコーディネートのコツを身に付けていただくことを目的とした WS 型セミナーを企画開催した。9 名(定員 8 名)の参加があった。

○おいしい鳥取 PR 推進事業

・すいか、マグロ、梨、松葉がになど季節の産品について、関西圏、中京圏、首都圏の百貨店等で展開された販売促進活動、広報業務について人的な支援や支払業務等を行った。

4. その他の事業

(1) 旬をおとどけ！とっとり WEB マルシェ実施事業

新型コロナウイルス感染症や物価高騰により影響を受けている県内事業者の販売機会を確保するため、インターネット上に県産品が購入できるサイトを立ち上げ、販売促進を行うキャンペーンを実施した。(鳥取県委託事業)

場所：高田商店 HP

期間：2023/7/29～2024/2/20

アイテム数：70 品目

その他：食パラダイス鳥取県特産品コンクールに関する特集ページを開設

(2) 家族まるごと「とりふる」登録事業

公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構からの受託事業

本県出身の大学生、高校生を対象として、定住機構が運用する県内就職情報提供データベースへの登録者に対して、本県特産品を送付するキャンペーン事業の発送業務を受託。

発送件数：425 件

5. 会員の異動の状況

4 年度末現在	期間中の異動		5 年度末現在
	加入	脱会	
152	6	3	155